

地域における包括的支援体制の構築をめざして

～地域連携を考えて～



芸術活動と地域連携

まつむし音楽堂

代表 ^わ和田 ^{たか}高 ^{ゆき}幸さんより

2018年1月、子ども音楽教室のつながりで、大阪府発達障がい者支援センター・アクトおおさか様主催の「OSAKAでこいる festa」の会場として、当スタジオをお使いいただきました。

スタジオは二階建てになっており、路面でガラス張りの一階（多目的ホール）では展覧会、二階（Aスタジオ）ではアート作品の上映と演奏会という展開となり、絵画、写真、工芸、音楽、現代美術といった幅広いジャンルに対応することができました。出品者の皆様の芸術への意欲、作品への取り組みに、ささやかながらお手伝いできたことは、たいへんうれしく光栄に存じます。

まつむし音楽堂（大阪阿倍野区）は、日頃は貸スタジオとして音楽のレッスンやリハーサルにお使いいただいておりますが、自前の音楽教室も開講しております。今回はピアノ教室の生徒様ご紹介くださり、このような機会をいただくことができました。作曲家・リストの「超絶技巧練習曲」など難曲をこなし、また、人に聞かせる技量もおもちの方ですから、「でこいる」コンサートには大勢のお客様がご来場になりました。演奏会は好評だったとお聞きしています。演奏者も、ご家族の皆様も、明るく解放された表情でお帰りになったのが印象的でした。

開催前日の作品搬入と会場設営には、職員の皆様、出品者の方が多数お見えになり、細部に至るまで入念にチェックしておられました。作品の展示位置（見せ方）などについては、展示環境のクオリティーをさらに高めたいという出品者の意思が、よく感じられ、アーティスティックで濃密な雰囲気を身

近に体感することができたのも大きな喜びです。

写真や絵画、イラスト、手芸品など、どの作品も完成度が高く、アートとして見応えのあるものばかりでした。このような作品を生み出す作家たちを、いわゆる「発達障がい者」という括りで判断するのは危険であると、私は考えます。どこまでも完成度の高い作品を追求する集中力というのは、だれにでも与えられた能力ではありません。だからこそ、芸術表現をめざす方々は、その能力を存分に発揮すればよいのです。

展覧会を経験することで、社会と連携し、良好なコミュニケーションの方法を学ぶことができると思います。そうすることで、いつの間にか彼らの生きづらさが和らぎ、やがて自立する道が開けるかもしれません。そのために、これからも、芸術表現の場を、積極的につくっていく必要があると思います。アクトおおさか様の活動に、大きな期待がかかっているのではないのでしょうか。



ひゅーまん ネットわーく



2018年 10月 発行 / 第75号

社会福祉法人 北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



第5回 北摂杉の子会研修セミナー

上左から：山口県立大学 社会福祉学部 教授 水藤 昌彦 氏
GHA チーフイノベーションズオフィサー ジャネット・バンクス氏
GHA 最高経営責任者 ドーン・アレン氏